



平成 22 年度  
都市景観大賞「美しいまちなみ賞」

受賞地区の概要

平成 22 年 5 月  
「都市景観の日実行委員会」

# 受賞地区一覧

## 「美しいまちなみ大賞」

地区名	地区面積	応募者
かねやままち かねやまちく 金山町 金山地区 (山形県金山町)	42ha	・金山地域区長サミット ・金山町
くらしきし ぐらしきびかんちく 倉敷市 倉敷美観地区 (岡山県倉敷市)	15ha	・倉敷伝建地区をまもり育てる会 ・特定非営利活動法人 倉敷町家トラスト ・倉敷市

## 「美しいまちなみ優秀賞」

地区名	地区面積	応募者
はこだてし としけいかんけいせいちく 函館市 都市景観形成地区 (北海道函館市)	120ha	・函館の歴史的風土を守る会 ・函館市伝統的建造物群保存会 ・NPOはこだて街なかプロジェクト ・はこだてクリスマスファンタジー実行委員会 ・はこだて冬フェスティバル実行委員会 ・函館市
あいづわかまつし なぬかまちどおりちく 会津若松市 七日町通り地区 (福島県会津若松市)	16.3ha	・七日町通りまちなみ協議会 ・会津若松市
よこはまし なかくやまてちようちく 横浜市 中区山手町地区 (神奈川県横浜市)	84.3ha	・山手まちづくり推進会議 ・横浜市 ・株式会社 山手総合計画研究所
なぎそまち つまごちく 南木曾町 妻籠地区 (長野県南木曾町)	1245.4 ha	・南木曾町 ・財団法人 妻籠を愛する会

## 「美しいまちなみ特別賞」

地区名	地区面積	応募者
かつしかく かつしかしばまたいしやくてんさんどうしゅうへん 葛飾区 葛飾柴又帝釈天参道周辺 地区 (東京都葛飾区)	9 ha	・特定非営利活動法人 柴又まちなみ協議会 ・東京都 ・葛飾区 ・まちひとこと総合計画室 ・クロスワンコンサルティング株式会社
かなざわし むさしがつじだいよんちく 金沢市 武蔵ヶ辻第四地区 (石川県金沢市)	0.9ha	・近江町いちば館管理組合 ・金沢市 ・株式会社 アール・アイ・エー金沢支社

# 審査講評

## ■金山町 金山地区

景観の取り組みは1963年の「全町美化運動」から始まり、各地区ごとに様々な住民活動が活発に展開されている。また金山型住宅の建設は、1983年の「街並み景観づくり100年運動」、1984年のHOPE計画、1985年の「金山町街並み景観条例」の制定をベースとして始められ、町内の街並みは徐々に金山型住宅が支配するようになってきている。さらに金山型住宅の一層の普及を目指して次世代型の長期耐久優良住宅について、プロポーザルによる事業実施選考を行い、採用された提案のもとにモデル住宅が建設されているなど、全町あげた景観形成の取り組みが実を結んでおり、高く評価できる。

また、金山町では町民の定住意識が周辺の他市町村に比べて高く、景観形成への取り組みが住民の定住意識の高まりのレベルまで深くひろがってきているように感じられる。すなわち、景観形成の効果が新たな段階にまで至ってきているという点で大賞に値するものとして高く評価できる。

## ■倉敷市 倉敷美観地区

保存された古民家の再利用方法が格段に洗練され、創造的である。旅館、レストラン、カフェ雑貨商などの内装、業態、サービス形式、商品開発の独創性が極めて高く、古民家、町並環境と平仄がうまくあっている。また空き地隠蔽の塀や民家軒先飾り、門灯などの町並修景のディテールに関する集約的なライフスタイルができています。さらに空家の再利用、補修に関する組織的な民間団体「倉敷町家トラスト」の活動が活発であり、既に数件の改装貸し出し、改装テナント仲介などの実績がある。また古民家再利用に関するコンサルティング業務に新しい産業化の可能性も見出せる。

以上の活動の担い手はいずれもこの町に長年住みついた市民またはその後継者が多いことからして、財産の再投資運用によるライフスタイルの発展的継承という点で都市文化の再生システムがうまく機能していると思われ、大賞に値するものとして高く評価できる。

## ■函館市 都市景観形成地区

歴史的ストックに恵まれており、それを大切にしたい保存修景が良好に進められている。アドバイザーによる事前相談制度も良い。NPOが空き家再生や空き地の緑化（花植え）活動等、まちなみの保存・形成に大きな役割を果たしており、こうした街なか再生プロジェクトは今後も大いに期待できる。そのほかに様々な団体が存在し、チャリティパーティの収益金の一部を歴史的町並み基金に寄付する活動や、歴史的建物や町並みを活かした各種イベントなど、それぞれ優れた取り組みをしている。このように歴史的ストックを大切に、再生・活用している点は高く評価できる。

唯一残念なのは、電柱電線や手入れの行き届かない残地空間等がやや目立つことであり、こうした点の改善に向けた取り組みが公民協働で今後更に進められることを期待したい。

## ■会津若松市 七日町通り地区

地区に現存する建物は、明治、大正、昭和初期に建設された町家や洋館、蔵が混在している。「大正ロマン調」を基本コンセプトにしているが、必ずしも統一的なまちなみを目指すのではなく、ひとつひとつの建物の質が高ければ、各時代の建物はそれぞれ個性的で美しく、総体として十分魅力的な沿道景観を形成し得るという考え方で多くの建物の修理・修景事業に取り組み、結果的に成功している。

また、「七日町通りまちなみ協議会」、「TMO(株)まちづくり会津」が空き家や空き倉庫の改修および事業運営を行っているほか、「七日町通りまちなみ協議会女性部会」がユニークな活動をし、観光客誘致に貢献しているなど、地元の市民活動は極めて活発であり、高く評価できる。

唯一残念なのは、電柱電線の撤去や歩道空間が未整備な点であり、今後、街路整備を総合的な視点で進め、歩きやすいまちづくりが実現すれば、さらに効果の上がることが期待される。

## ■横浜市 中区山手町地区

公園整備や電線地中化のハード事業と地区計画等の規制、住民によるパトロール等のソフト事業を組み合わせ、地区の資源を活かしたまちなみ保全に長年にわたり取り組まれていることが評価できる。

また、まちづくり憲章、まちづくり協定の作成と運用、地区計画策定などのルールづくりのほか、文化活動などコミュニティ形成も住民主体で取り組まれており、さらに西洋館の管理、運営も市民の手に委ねられている点なども評価できる。

## ■南木曾町 妻籠地区

1969年に妻籠宿保存計画基本構想が提出された時点から、建物だけではなく広大な周辺自然景観も考慮にいった景観保全が実践されており、また住民主体で始まった保存優先の理念が約40年経過した現在も当初の情熱のまま継続実践されている点が素晴らしい。

約190棟の修理・修景事業、景観配慮の防災設備事業、街道裏側の生活道路の整備など、住民の暮らしと歴史的町並みの共存する保存事業の展開には好感がもてる。

自然景観と歴史的景観のバランスの良さ、夜の日常、非日常のコントラスト等も心地良い。

## ■葛飾区 葛飾柴又帝釈天参道周辺地区

江戸の下町風情をうまく活かしつつ、地味ではあるが少しずつ景観整備が進んでいる印象を受け、結果として、地域の特性をよく出しながら、一貫したデザインになっているのが心地よく感じられる。また、ぼんぼり照明のアイデアも評価できる。

まちなみ形成のため、東京都と葛飾区の補助事業を活用しつつ、参道の商店会（神明会）やNPO（柴又まちなみ協議会）が事業主体となって整備を進めた点や、NPOが景観ガイドラインを策定・運営するなど、行政との連携のもと住民の積極的な活動が評価できる。

## ■金沢市 武蔵ヶ辻第四地区

施設全体にダークグレーの落ち着いた色調を用い、金沢市に漂う古都の雰囲気と調和するように、また歴史的建築物（銀行）がランドマークとして引き立つように配慮されている。

そのほか、歴史的建築物の保全・活用、バス停整備、地下道設置、電線類地中化、建物のセットバックと歩道空間の一体的整備など、多様な試みがなされている。

「まちなみ」というよりは「施設計画」的な印象も否めないが、これを機に今後さらに周辺のまちなみへの波及を期待したい。

## 美しいまちなみ大賞 金山町 金山地区

- 所在地：山形県金山町
- 地区面積：42ha
- 応募者：金山地域区長サミット、金山町

### ■〈地区の概要〉

当地区は、銘木「金山杉」の産地で知られる金山町の中心部に位置し、江戸時代に羽州街道の宿場町として栄えたところである。街は往時の風情を残し、白壁の土蔵や切り妻屋根の「金山型住宅（木造家屋）が軒を連ね、地区内を廻る水路網や周囲の山々の緑と調和し、落ち着いた街並みを形成している。

取り組みは1960年代の「全町美化運動」からはじまり、以後、景観をまちづくりの柱にする「街並み景観づくり100年運動」のもと、HOPE計画、景観条例・景観形成基準の制定、景観助成制度の創設などにより「金山型住宅」の街並み整備が進められてきた。また、水と緑の散歩道、空き地を活用した広場や公園、特産の杉材を活用した屋根付き木橋なども整備されている。2006年に「全町一斉クリーン作戦の日」を制定し、町の隅々まで清掃美化活動に取り組むなど、住民が街に誇りを持ちながら質の高い生活文化を楽しんでいる。若者の定住意識も高く、来訪者も増加している。



金山町街並み景観条例（昭和61年3月制定）に基づく、切妻屋根に白壁、下見板張りの「金山型住宅」が並ぶ七日町通り。



空洞化した住宅地の空き地（4戸分）を町が買収し、「大堰公園」として整備。樹木や池は従前からのものを活用。多くの人に利用されている。

## 美しいまちなみ大賞 倉敷市 倉敷美観地区

- 所在地：岡山県倉敷市
- 地区面積：15ha
- 応募者：倉敷伝建地区をまもり育てる会、特定非営利活動法人 倉敷町家トラスト、倉敷市

### ■〈地区の概要〉

当地区は、倉敷市の中心市街地内に位置し、江戸期以来の歴史的な町並み景観が保全されている。年間300万人以上の観光客が訪れる県内有数の観光地でもある。

1979年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、これを機に歴史的建造物の修理・修景に対する助成、建築基準法の緩和、固定資産税の減免等の措置を講ずることにより、建築物の修理・修景が積極的に行われた。そのほかに道路舗装の美装化、電線類の地中化、夜間景観照明事業などの環境事業も実施された。またNPO倉敷町家トラストや倉敷伝建地区をまもり育てる会などのまちづくり組織も設立され、町家の再生・活用事業や各種イベント等が催されるなど、住民主導型のまちづくりが積極的に行われ、質の高い生活文化が創造されている。



当地区の中心部を流れる倉敷川の両岸には、往時の繁栄を物語る伝統的な建造物が建ち並んでいる。



NPO 倉敷町家トラストによる町家再生第1号物件「本町御坂の家」。町家生活体験（宿泊）施設として利用されている。

## 美しいまちなみ優秀賞 函館市 都市景観形成地区

■所在地：北海道函館市

■地区面積：120ha

■応募者：函館の歴史的風土を守る会、函館市伝統的建造物群保存会、NPO はこだて街なかプロジェクト、はこだてクリスマスファンタジー実行委員会、はこだて冬フェスティバル実行委員会、函館市

### ■〈地区の概要〉

当地区は、150年前に函館港の開港により発展した地区であり、和風、洋風の建物が建ち並び、その建物群が大正期に整備された広幅員の坂道、函館山、函館港と融合して異国情緒あふれる景観を形成している。

景観条例に基づく景観形成基準やデザインガイドブックのほか、アドバイザーによる事前相談制度などを設け、まちなみの整備・保存を図っている。また街路を自然石により舗装し、沿道の歴史的建造物のライトアップを行っている。さらにNPO等による空き地の花植え活動や使用者のいなくなった建物の再生プロジェクトの実施や、指定建造物の保全を目的とする歴史的町並み基金に寄付するためのチャリティパーティ、でんけんコンサート、冬フェスティバルなど、歴史的建物やまちなみを活かした多くのイベントも開催され、市街地の活性化や冬期観光客の増加に寄与している。



港ヶ丘通。自然石による舗装がなされている。正面にはカトリック元町教会、和洋折衷様式の建物がある。



はこだて冬フェスティバル。基壇に設置されたイルミネーション。

## 美しいまちなみ優秀賞 会津若松市 七日町通り地区

■所在地：福島県会津若松市

■地区面積：16.3ha

■応募者：七日町通りまちなみ協議会、会津若松市

### ■〈地区の概要〉

当地区は、会津若松市の中心市街地西部に位置する延長約800mの通りである。かつては日光・越後・米沢街道が通る城下の西の玄関口として問屋や旅籠、料理屋などが軒を連ね、明治以降も重要な通りとして繁栄を極め、昭和30年代までは市内有数の賑わいを見せていた。

地元有志が衰退した商店街の活性化と地域コミュニティの再構築を図るため、「七日町通りまちなみ協議会」を発足させ、地区に残る趣ある歴史的な建物を活かし、「大正浪漫調のまちづくり」を基本コンセプトに、建物外観の修景や空き店舗対策、イベント開催などに取り組んできた。

この結果、まち歩きをする観光客が増加するとともに、空き店舗も減少しつつあり、まちが活性化している。



市歴史的景観指定建造物の「滝谷建設工業(株)会津若松店社屋(昭和2年建築)」及び「白木屋漆器店(大正3年建築)」の洋風建築。



後付けされた看板やテント、パラソル類は取り除かれ、建築物本来の姿に修景。自動販売機等の設備類は建築物と一体的に隠れいが図られている。

## 美しいまちなみ優秀賞 横浜市 中区山手町地区

- 所在地：神奈川県横浜市
- 地区面積：84.3ha
- 応募者：山手まちづくり推進会議、横浜市、株式会社 山手総合計画研究所

### ■〈地区の概要〉

当地区は、横浜市の中心市街地である関内地区隣接の丘に広がる緑豊かな住宅地である。幕末に外国人居留地として築かれた歴史を持ち、現在も西洋館や教会、外国人墓地、山手公園（史跡）などがある異国情緒あふれる街である。また、日本の道100選にもなっている山手本通りを中心とした横浜を代表する観光地であるほか、多くの教育施設が点在する文教地区でもある。

学校跡地のマンション建設問題を契機に、まちづくり組織が結成され、住民主体でまちづくり憲章、まちづくり協定の作成と運用、地区計画策定などのルールづくりを行ったほか、文化活動などコミュニティ形成にも力を入れている。横浜市も戦後の接収解除後の1972年に「山手地区景観風致保全要綱」を制定するなど、当初から景観保全に取り組み、近年は西洋館の保存公開、住民組織のまちづくり活動支援なども行い、公民協働で景観づくりに取り組んでいる。



旧市電の敷石で整備されている山手本通りと山手234番館の西洋館。春は元町公園の桜が咲き美しい。



エリスマン邸。地下に50人収容の展示集会ホールを併設し、様々な市民活動に利用されている。西洋館が約40棟現存する。そのうち横浜市所有のものは無料で公開されている。

## 美しいまちなみ優秀賞 南木曾町 妻籠地区

- 所在地：長野県南木曾町
- 地区面積：1245.4ha
- 応募者：南木曾町、財団法人 妻籠を愛する会

### ■〈地区の概要〉

当地区は、中山道木曾十一宿のひとつで、旅籠屋形式の町家が中山道の両脇に連続して面しており、宿場町としての歴史的風致が色濃く残った地区である。1976年に重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

町並み保存運動は昭和40年代からスタートし、「妻籠を守る住民憲章」や「妻籠宿保存条例」の制定をはじめ、町並み保存事業による建物の修理・修景や街道裏側の生活道路整備、電柱の撤去・移設、さらには管理者不在の空き家を町が買い取り、文化財として再生し、観光客に公開する事業など、40年以上にわたって官民一体で地域全体の景観保全に取り組まれている。こうした保存を第一義とする運動は結果的に多くの観光客を招来し、住民活動や地域経済の柱となっている。



妻籠宿を代表する「寺下の町並み」。中山道を挟み、連続した町家形式の家屋と自然景観による背景が美しい。



過剰な照明を規制し、行灯による町並み演出。昼間の賑わいとはまた違った景観を醸しだしている。

## 美しいまちなみ特別賞 葛飾区 葛飾柴又帝釈天参道周辺地区

- 所在地：東京都葛飾区
- 地区面積：9ha
- 応募者：特定非営利活動法人 柴又まちなみ協議会、東京都、葛飾区、まちひとこと総合計画室、クロスワンコンサルティング株式会社

### ■〈地区の概要〉

当地区は、江戸時代からの農村の風情を残した住宅地であり、「東京の田舎の下町」情緒あふれる地区である。地区の中心には映画「男はつらいよ」で有名となった帝釈天（経栄山題経寺）があり、年間200万人を超える参拝客や観光客が訪れる。帝釈天参道には、今でも築60年～100年を経た建物が数多く残っている。

参道の電線類地中化・石畳舗装をはじめ、NPOにより策定された景観ガイドラインに基づき参道や回遊路の修景事業、休憩スペースの設置等がなされている。また地元商店会による参道店舗のライトアップのほか、市民協働による多彩なイベントが実施され、まちの活性化に寄与している。



京成柴又駅前広場から駅舎方面を望む。平成11年に周辺商店街や住民・観光客の寄付により建設された寅さん像がある。



参道の夜間風景。平成18年に「宵あかり」として、看板および軒下のぼんぼり照明を設置し、18時～21時までライトアップしている。

## 美しいまちなみ特別賞 金沢市 武蔵ヶ辻第四地区

- 所在地：石川県金沢市
- 地区面積：0.9ha
- 応募者：近江町いちば館管理組合、金沢市、株式会社 アール・アイ・エー金沢支社

### ■〈地区の概要〉

当地区は、JR金沢駅から香林坊・片町へ至る金沢駅通り線（都心軸）沿いに位置し、藩政以来290年の歴史を持ち、市民の台所として長く親しまれてきた近江町市場の老朽化等に伴い再開発された地区である。

再開発事業に合わせて、国道の拡幅、バス停整備、電線類の地中化等を実施したほか、金沢駅通り線の整備済区間との連続性に配慮し、当地区の建物をセットバックさせ、既存区間と同様の舗装（赤御影石舗装）を施して一体的な景観を確保している。また歴史的建造物である銀行（村野藤吾氏設計）を曳移転により保存・活用を図っている。こうした整備やイベント活動等により、周辺において商業が活性化し歩行者通行量も増加している。



地区の全景。武蔵ヶ辻交差点付近に曳移転された銀行（村野藤吾氏設計）がランドマークになっている。



再開発施設の1階市場と街路景観。上部アーケードは近江町市場商店街振興組合の事業として、再開発を機に架け替えを行なった。

# 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」について

## 1. 表彰目的

活力ある潤い豊かな美しいまちなみは、国民全体が目指すべきまちづくりの目標であり、地域の大切な資産になるものであると同時に、都市・地域再生の進展や観光交流の発展のために重要な要素となるものです。

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」は、美しいまちなみを創り、育てるために、行政と民間が協力し、ハードとソフトの両面を含めた総合的な取り組みが行われている地区を全国から募集し、その中でも特に優れた地区について表彰を行い、広く国民に紹介していくことにより、より良い都市空間の形成を目指すものです。

## 2. 表彰内容

- ①美しいまちなみ大賞（国土交通大臣賞）・概ね1～2地区
- ②美しいまちなみ優秀賞 ・ ・ ・ 数地区
- ③美しいまちなみ特別賞 ・ ・ ・ 内容に応じ、適宜選定

## 3. 対象地区

次の両方の要件を満たす地区とします。

- ① 地方公共団体と住民やNPO、企業等が協力し、街路や公園等の公共空間と建築物等による民有空間を一体とした美しいまちなみが形成されていること。建築物等の規制・誘導、電線類の処理、広告物の整序等が考慮されており、あわせて沿道景観等にも配慮した道路等の公共施設の整備が行われていること等。
- ② まちなみの形成・維持・保全に係わるNPO等のまちづくり組織等\*が設立され、適切に管理・運営がなされているとともに、まちなみが十分に活用され、地域の活性化が図られているか、それが期待できること。

\*まちづくり組織等とは、地域のまちづくりを継続的に行っている組織であり、NPO、まちづくり協議会ほか、商店街振興組合等、形態は問いません。

なお、地区の範囲については、まちなみを対象とした一定の空間的広がりを想定しており、単体の構造物による景観の保全・創出は対象とはなりません。

## 4. 応募者

応募地区の所在する地方公共団体（都道府県又は市町村又は特別区）と、まちなみの形成・維持・保全に係わるまちづくり組織等とが一体で応募するものとします。また、このほかに、まちづくりにかかる事業の実施主体等の関係団体も共同応募者となることができます。

## 5. 審査及び表彰

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会において、応募図書等とともに、まちなみの整備や維持・保全活動の新規性、獨創性、模範性等のほか、都市・地域再生や観光交流の面でのアピール性等を審査した上で、各賞を選定します。

## 6. 審査委員会 委員名簿

委員長	中村良夫	東京工業大学 名誉教授
委員	岩淵潤子	慶応義塾大学 教授
	卯月盛夫	早稲田大学芸術学校 教授
	加藤 源	都市プランナー
	岸井隆幸	日本大学 教授
	輿水 肇	明治大学 教授
	田中一雄	環境・工業デザイナー
	富田泰行	照明デザイナー
	富田玲子	建築家
	松葉一清	建築評論家
	小林 昭	国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地・景観課長
	望月明彦	国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備課長
	井上勝徳	国土交通省 住宅局 市街地建築課長

(順不同、敬称略、平成22年4月現在)

### ■主催:「都市景観の日」実行委員会

(財)都市計画協会、(社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、(財)民間都市開発推進機構、(社)日本都市計画学会、(財)都市みらい推進機構、(社)街づくり区画整理協会、(社)全日本屋外広告業団体連合会、(財)都市緑化基金、(財)都市づくりパブリックデザインセンター、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市連絡協議会、全国街路事業促進協議会

### ■後援:国土交通省

### ■協賛団体:

(財)都市文化振興財団、(財)計量計画研究所、(財)区画整理促進機構、(社)日本交通計画協会、(社)再開発コーディネーター協会、(財)日本造園修景協会、(社)日本造園建設業協会、(財)公園緑地管理財団、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(社)日本下水道協会、(財)自転車駐車場整備センター、(社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

### ■事務局:(財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-12 TEL 03-3222-0981 URL <http://www.udc.or.jp>